吉田南中だより

令和４年５月３０日
鹿児島市立吉田南中学校

６月の主な行事

６　月					
日	曜	行　事　内　容	日	曜	行　事　内　容
1	水	上級学校説明会（全学年）	17	金	学級専門部会　教育相談
2	木	上級学校説明会	20	月	期末テスト一日目
6	月	総体激励会　ＰＴＡ評議員会	21	火	１年集金日　期末テスト二日目
7	火	市中体連総体　かごんま弁講座	22	水	２年集金日　期末テスト三日目
8	水	市中体連総体	23	木	３年集金日
11	土	土曜授業　教育相談	24	金	授業参観　ＰＴＡ　学校保健委員会
14	火	全校朝会　ＰＴＡ理事会	28	火	生徒朝会

※　今後もコロナウィルス感染症対策のために，行事の中止・延期等の変更が十分予想されます。各行事の変更に関しましては，安心・安全メール等で連絡して参ります。御了承ください。

全力を出し切ろう！＜市郡中学校総合体育大会＞

部活動の集大成である市郡中学総体が開催されます。吉田南中の保護者の皆さんは皆，彼らのサポーターであることと思います。これまでの努力を精一杯発揮いたします。温かい御声援をよろしくお願いします。

種目	日程	会場	種目	日程	会場
野球	６／８ ～１０	平和リース球場 （県立鴨池球場）	女子バレー	６／７ ～１０	桜島体育館
サッカー	６／７ ～９	県立ｻｯｶｰ･ﾗｸﾞﾋﾞｰ場 （ふれあいｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ）	ソフトテニス	６／７ ～９	東開コート
男子バスケ	６／７ ～１０		水泳	６／１４	鴨池プール
女子バスケ	６／７ ～１０				

校外体験活動　＜学年別行事（1･2年生）＞

１年生は吉野での集団宿泊学習。中学校で初めての仲間とともに，雨を避けながら野外炊飯をしたりハイキングをしたりして友情を深めました。飯ごう炊飯やテント張り，いい経験でしたね。

２年生は修学旅行で二年ぶりの県外へ。長崎のハウステンボスでＳＤＧｓについて，翌日は平和学習を行いました。ウクライナ侵攻について言及する講師の方が，怒りに肩をふるわせる姿が印象的でした。帰校後，平和学習の発表会も行われました。

校外体験活動　＜学年別行事（3年生）＞

３年生は，３日間のトライワーク（職場体験学習）を実施しました。校区内外の複数の事業所において職業体験をしました。働くことの厳しさや楽しさを感じることができました。

校外での体験活動は一人一人を大きく成長させてくれます。もちろん学校でも生徒たちは思いやりがあるのですが，外に出ることで，客観的に自分が見え，他者の存在の大切さに気付き、自分のいいところや特徴も再発見できる貴重な機会だと思います。

生徒一人一人はそれぞれ自らの「思い」を大切にしつつ，他者の「思い」も尊重しながら，「人」としての自分の生き方を高め続けた活動となりました。保護者の皆さん，送迎等の御協力をありがとうございました。

ちょっと立ち止まって　　教頭　河野　和一

★詩　『自分の感受性くらい』　茨木　のり子

ぱさぱさに乾いてゆく心を
気難しくなってきたのを
苛立つのを
初心消えかかるのを
駄目なことの一切を
自分の感受性くらい

ひとのせいにするな
友人のせいにするな
近親のせいにするな
暮らしのせいにするな
時代のせいにするな
自分で守れ

みずから水やりを怠っておいて
しなやかさを失ったのはどちらなのか
なにもかも下手だったのはわたくし
そもそもがひよわな志にすぎなかった
わずかに光る尊厳の放棄
ばかものよ

しかられることが少なくなってきた大人になり，ちょっと立ち止まって読み返したくなる詩です。
自分達の生きている場所，時間，地域，生活そして自分の心のあり方は自分自身で守ろう。

「はんが、心配な分だけ、母ちゃんは安心しとっと」（あなたが心配をしている分、私は安心できるのよ）　校長　塚元　宏雄

私事ではありますが，週末は実家に帰って高齢の父母の支援をすることがあります。いわゆる「週末介護」で，食事や家の中の整理などをしています。草刈りなどの畑や庭の管理もしています。妻も率先してやってくれ，また，介護サービスの協力を受けながら，実家のことと仕事の両立が何とかできていることに感謝をしています。

それでも，時々，親ができなくなったことや判断力の低下に対して，たくさんのことを進めたい私は，少し気持ちがイライラすることもあります。

ある土曜日，イライラした私が母へ，「母ちゃんのことが，心配じゃっとよ（心配なんだよ）。だから，いろいろと言いたくなっとよ（言いたくなるんだよ）」と強い口調で言うと，母が，「はん（あなた）が，心配な分だけ，母ちゃんは安心しとっとよ」と笑顔で返してきたのでした。

私たちは，ときどき，相手のことを思ったつもりで，ついつい強い口調で言ってしまったり，余計な一言を言ってしまったりすることがありますが，そんな一言をひっくり返されるような「だから，安心しとっとよ」に，力が抜け，笑って涙が出そうになりました。

教育もしかり，「恐育」にならぬよう，一生懸命な自分の気持ちだけが中心になってしまわぬよう，肩の力を抜いて相手の状態や相手意識も大切にしながら進めていく必要があると思うことでした。